

A photograph of a raccoon-like animal, possibly a Japanese raccoon dog (Tanuki), climbing a wooden structure. The animal is seen from the back, clinging to the side of a wooden wall or fence. The background is a light-colored wall with some wooden trim. The overall image has a slightly faded, semi-transparent appearance.

軽井沢の外来種 ～アライグマとハクビシンなど～

軽井沢町野生動物対策報告会 2024.12.8

NPO法人 生物多様性研究所 あーすわーむ
福江 佑子

外来種

侵略的外来種

地域の自然環境に大きな影響を与え、生物多様性を脅かすもの

外来種の問題（影響）

在来種の捕食

競合 → 駆逐

交雑、遺伝子攪乱

寄生生物の持ち込み

生態系への影響 土壌・植生破壊

農林水産業被害

人間への危害／人獣共通感染症

固有の文化の破壊

在来生物への影響

生物多様性の減少

固有の自然環境の破壊

生息環境の破壊



アライグマとミンクは**特定外来生物**

＜特定外来生物で規制される事項＞

飼育・栽培



運搬（生きたまま移動させる）



保管



輸入



野外への放出、植栽、
は種（種をまくこと）



許可を受けていない者
に対しての譲渡など





ソウシチョウ



オオクチバス



ウチダザリガニ



ガビチョウ

どんな外来哺乳類がいるのか？



軽井沢町の対策の取組

①生息情報の収集 (ハクビシンを除く)

②通報対応

③捕獲、殺処分

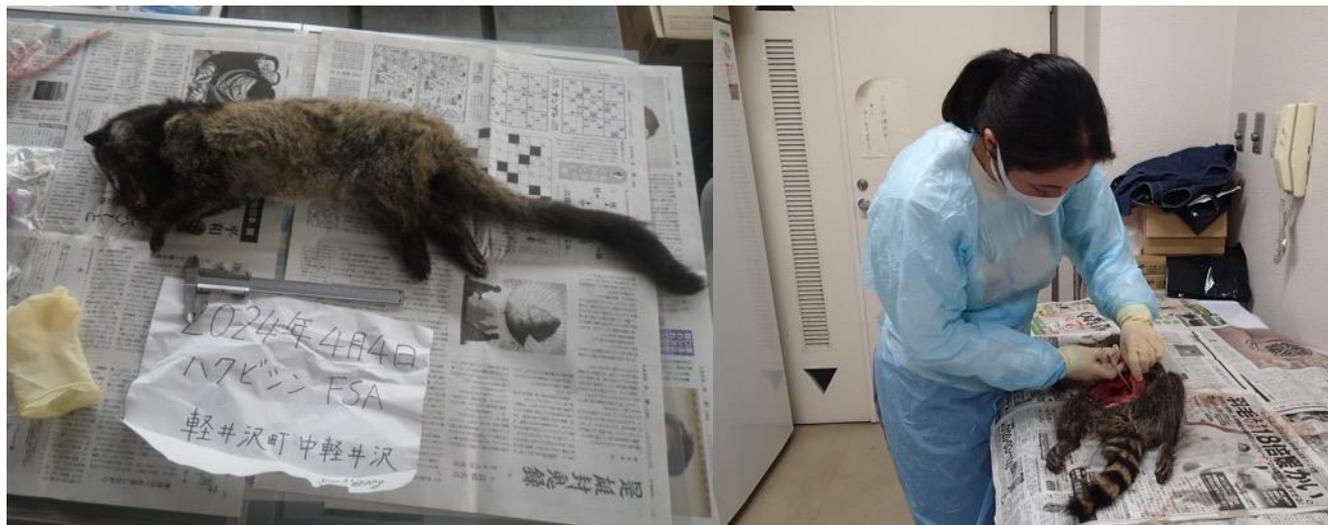
④解剖



▪ 個体情報の把握 (計測、性別、成熟状態、妊娠の有無等)

▪ 寄生虫検査

▪ 年齢査定



アライグマ(食肉目アライグマ科)

体の特徴

- ・顔の中央(眉間から鼻)が黒い
- ・耳の端は白い
- ・ひげは白い
- ・尻尾に横縞がある
- ・体は全体的に灰色(茶色の個体もあり)
- ・指は長く、5本指
- ・体重 4~10kg
- ・体長(頭から尻) 50~60cmほど
- ・尾長 30cmほど



糞尿の重さで抜けた天井



天井裏の糞尿被害



軽井沢での人間生活(家屋侵入)への被害例

床に散らばる糞尿



アライグマの幼獣の死骸



通気口



床下



侵入経路

弱いところを破壊(アライグマ)

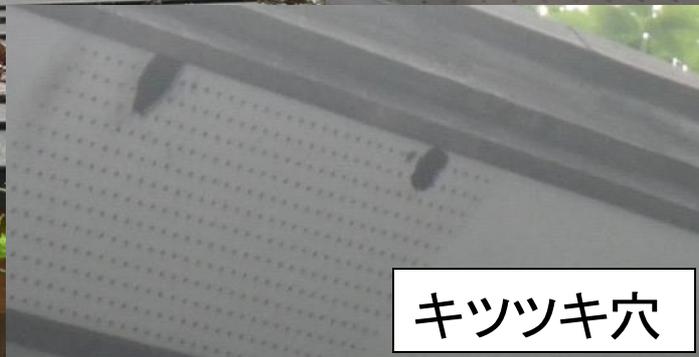
剥がされた壁

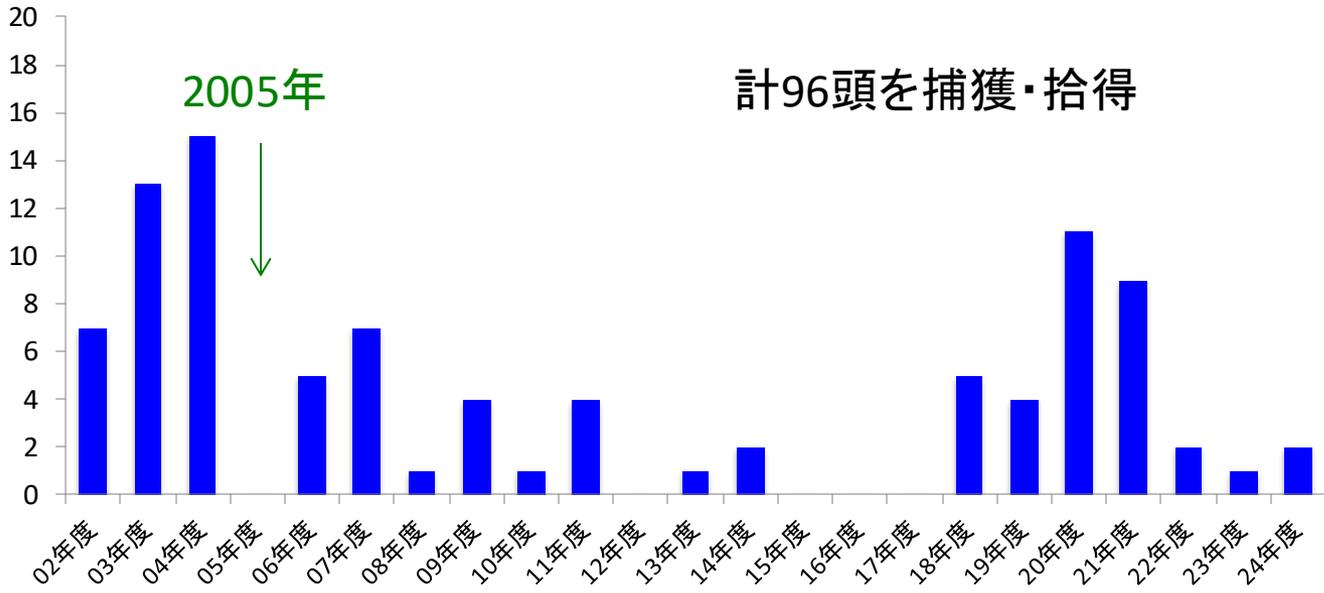


腐食した箇所

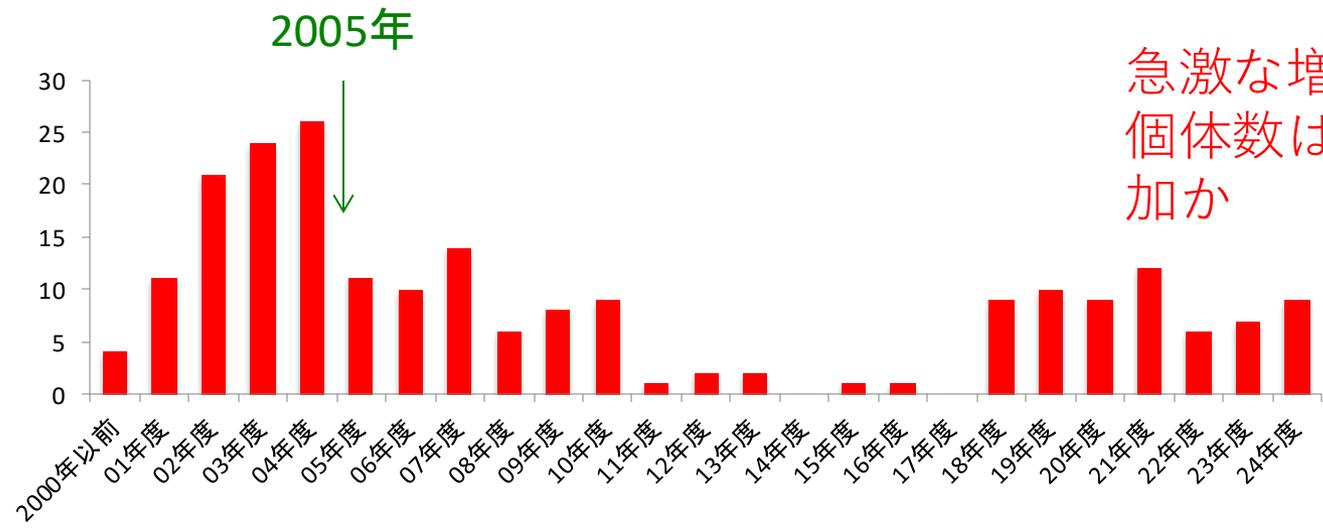


キツツキ穴





早期対策



急激な増加を食い止め、一旦、
個体数は減少したが、再度の増加か

ハクビシン(食肉目ジャコウネコ科)

体の特徴

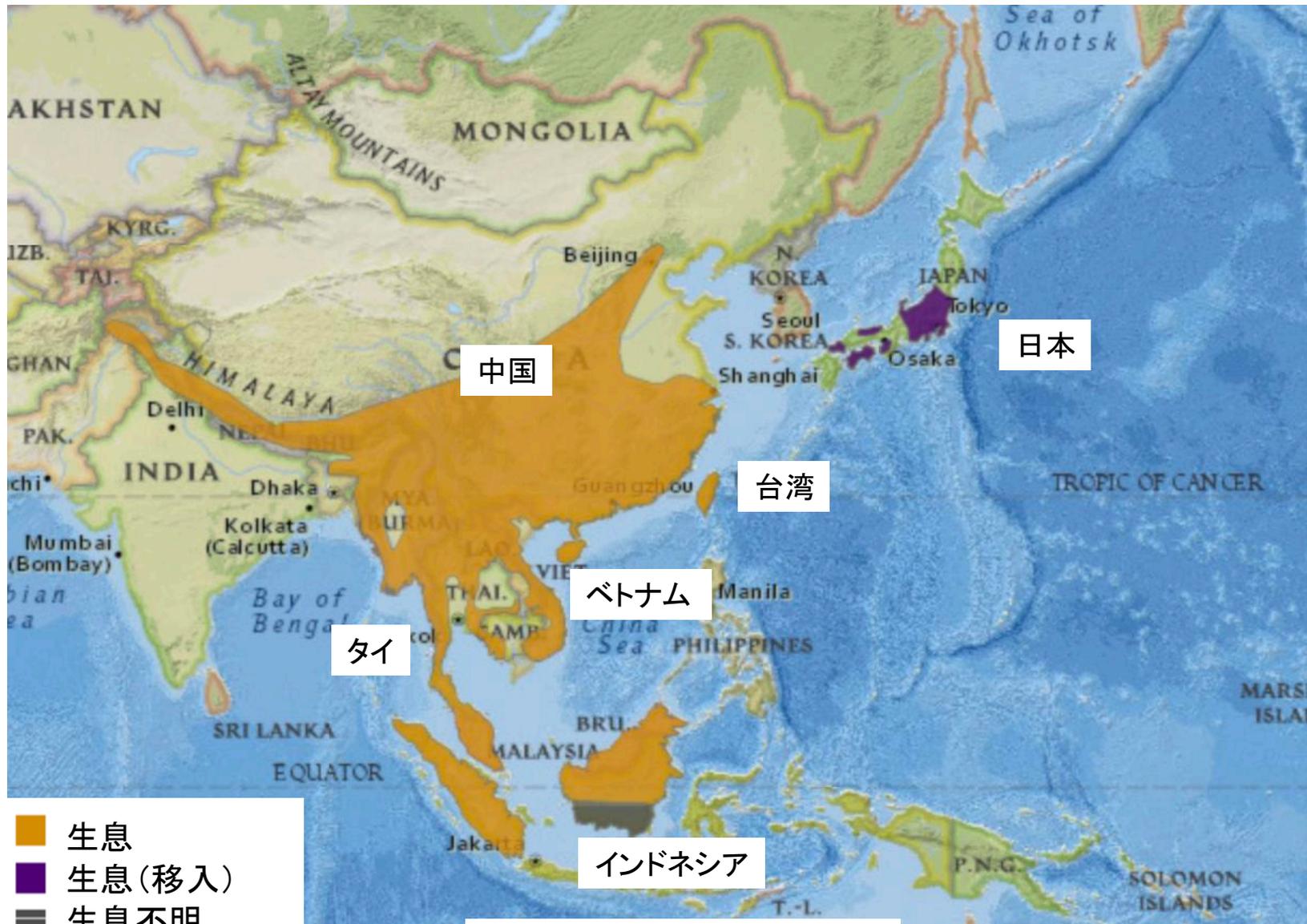
- ・顔の中央が白い
- ・手足は短く、尻尾は長い
- ・体は黄茶色で、手足や尻尾の先端は黒色
- ・指は5本指で丸い足跡がつく
- ・体重 2～4kg
- ・体長(頭から尻) 50cmほど
- ・尾長 50cmほど



前足

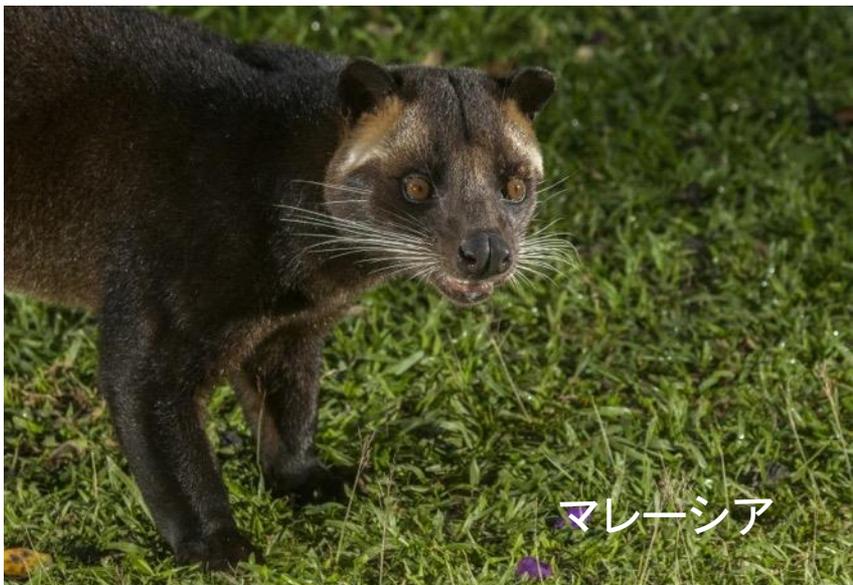


後足

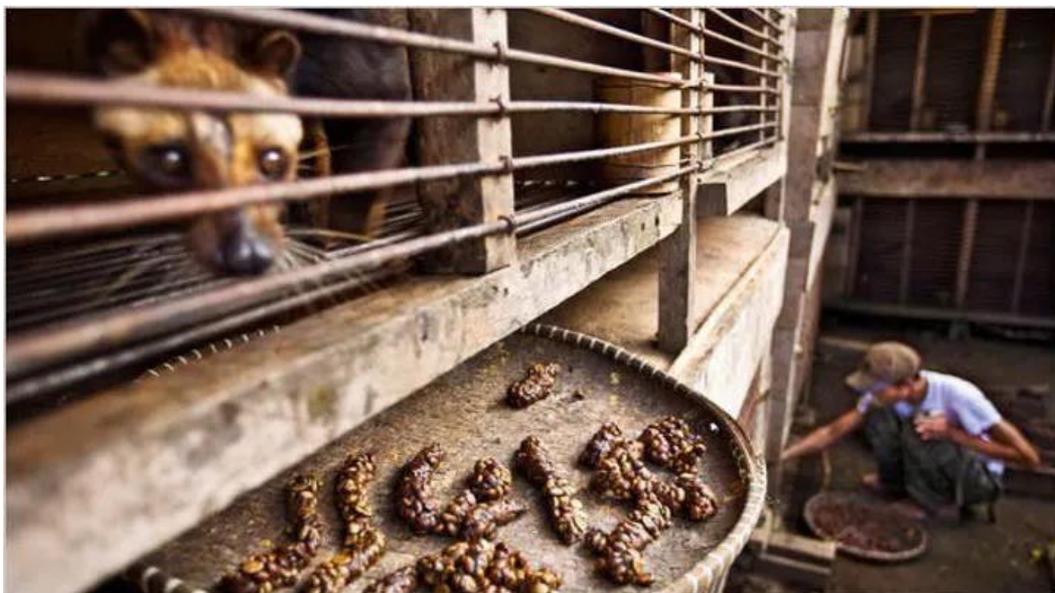


ハクビシンの分布

IUCNの絶滅危惧種の“低懸念”に指定
 個体群の減少



東南アジアのハクビシンたち



コピ・ルアク(シベットコーヒー)のため捕獲され飼育

ラオスの市場で野生動物の肉として販売

生態的特徴

- ・雑食性(果実類、鳥、小哺乳類、昆虫類など)
 - 農作物被害、生態系への被害
- ・木登りが得意(電線、雨樋を利用可能)
 - 家屋侵入被害
- ・インドネシア～東南アジア・中国南部に分布
日本では北海道を除き全国的に分布拡大
 - 外来生物
- ・出産時期は明確でないが、春と秋にピークがある(多回発情)
 - 増加しやすい
- ・1度に2～4頭の子供を出産



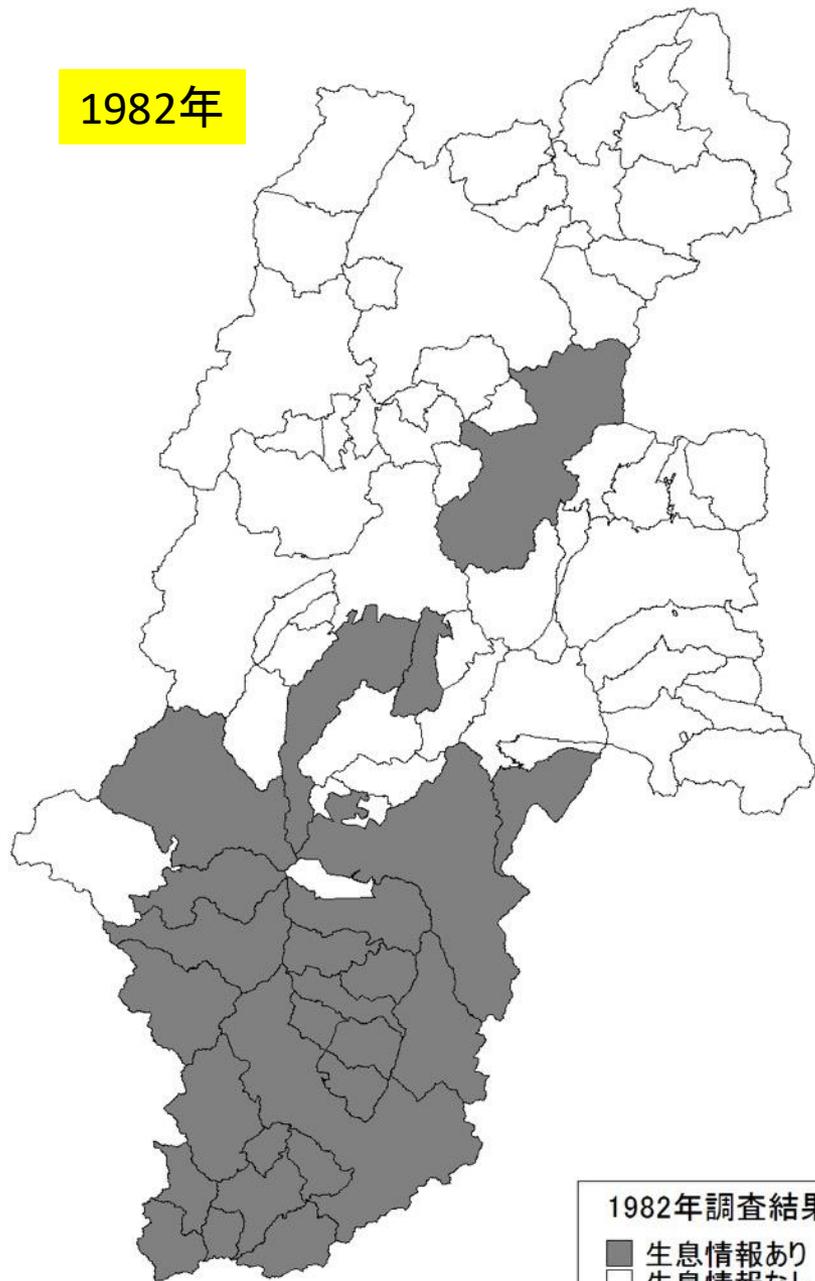
天井裏に入ったハクビシン



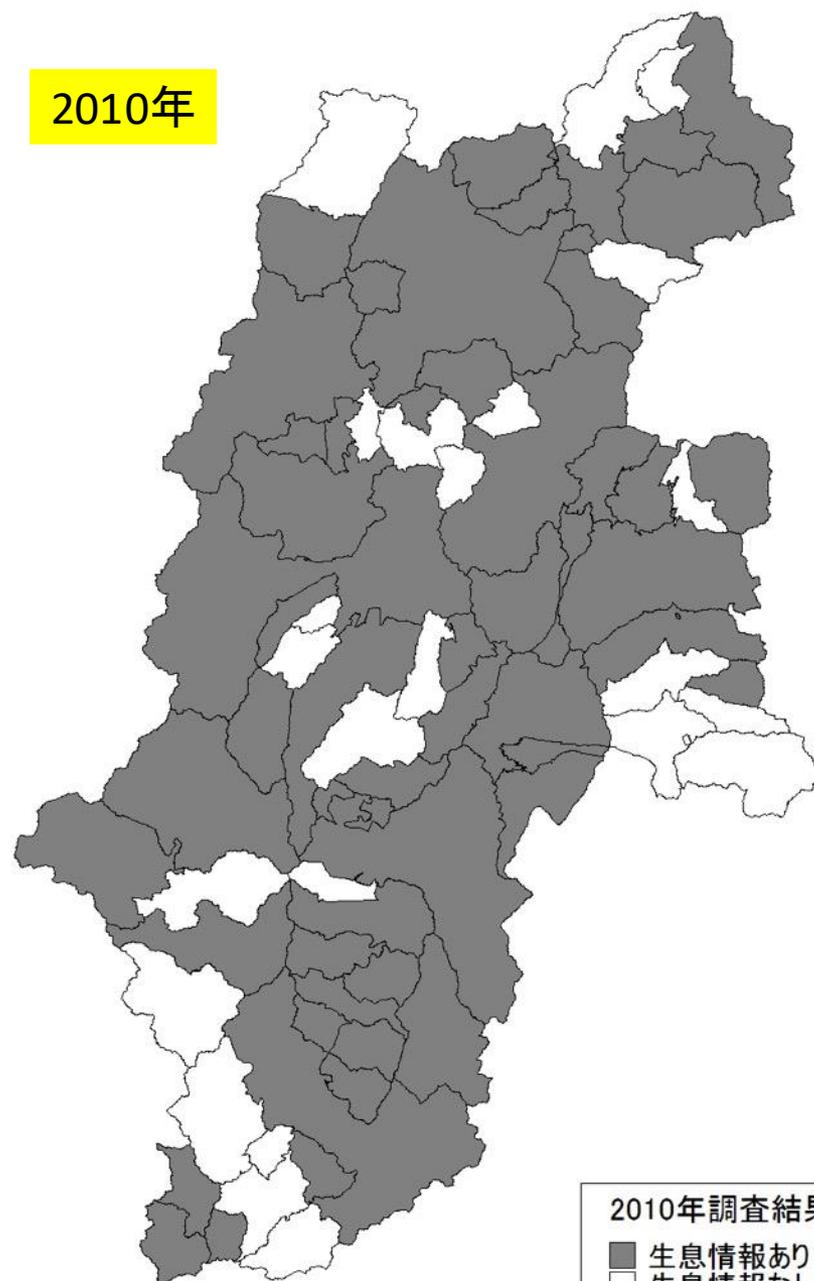
床下から侵入するハクビシン

10/23/10 06:07 AM

1982年



2010年



市町村回答によるハクビシンの生息状況

生息情報なし(生息なし8+返却なし16)

アメリカミンク



イタチ科

0.6～2kg

泳ぎが得意

魚、鳥、ネズミなどを捕食

毛皮獣として各地で養殖

水辺に生息

外来種から地域の自然を守るには

- ・地域の守るべき自然を知る(生物相の調査)
- ・自然環境の継続的、定期的なモニタリング調査

普段からの継続的な調査が
早期発見、対処方法につながる

早ければ早いほど、
時間もコストもかからない！

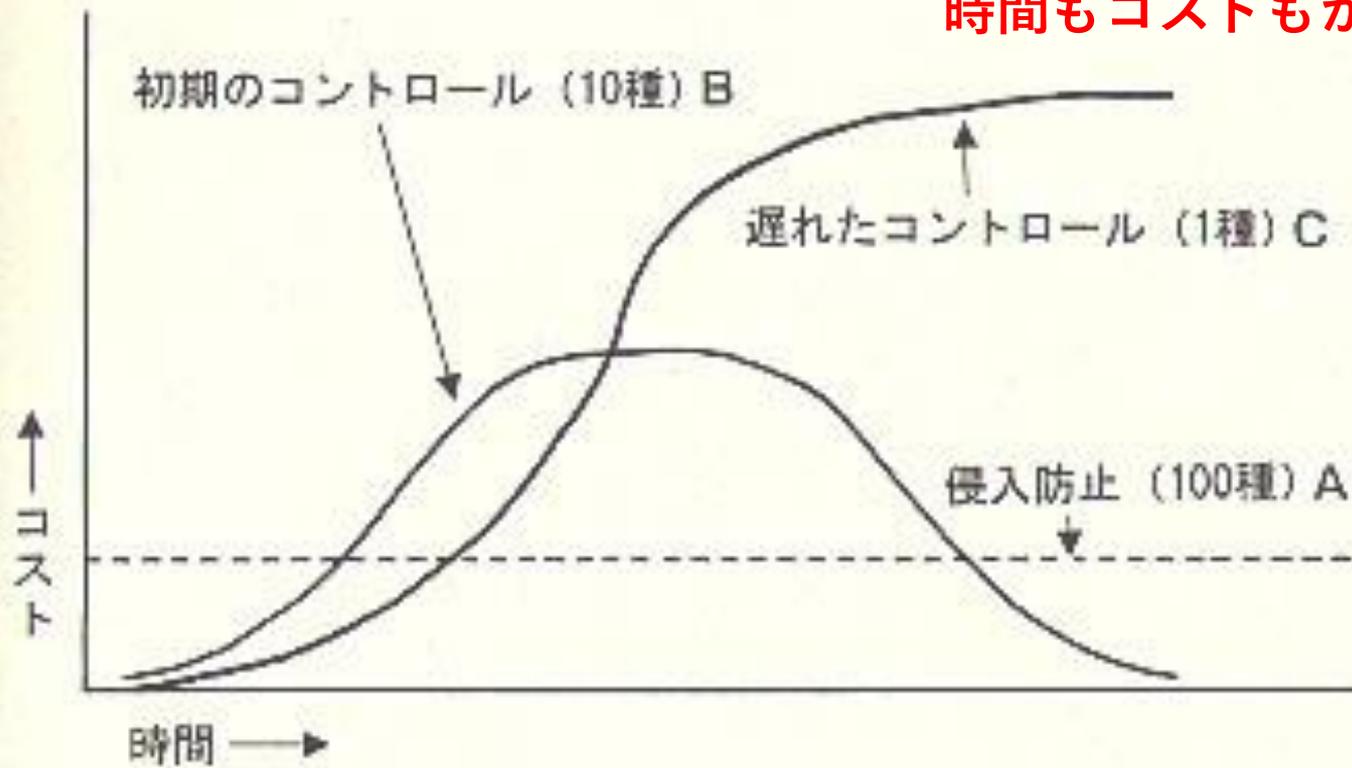


図2・7 移入種のコントロール時期によるコストの変化
横軸は経過時間、縦軸はコストを示す (Naylor, 2000より改変)

アライグマ・ハクビシンの被害防除

被害対策のプロセス

(「野生鳥獣被害防止マニュアル」農林水産省生産局を改変)

加害動物の特定



加害動物の特徴

- ・生態
- ・被害形態など



侵入防止

- ・電気柵などの設置
- ・侵入口をつくらない

農地や人家に寄せない

- ・廃棄物(果実や野菜ゴミ)の管理
- ・ねぐらとなる寺社、廃屋や別荘の管理

捕獲

- ・加害個体の捕獲
(錯誤捕獲を減らす)

被害の軽減